

2014年12月22日

報道関係者各位

IP Infusion Inc.
株式会社 ACCESS

**IP Infusion、「VirNOSTM」の世界展開に向けて
評価ライセンスの供与を開始
－ NEC とマルチベンダ環境での評価を完了－**

株式会社 ACCESS（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：室伏 伸哉、以下 ACCESS）の米国子会社 IP Infusion Inc.（本社：米国カリフォルニア、最高経営責任者：大石 清恭、以下 IP Infusion）は、同社の、NFV（Network Functions Virtualization^{※1}）をベースとした「VirNOSTM（ヴァーノス）」を、ネットワーク構築ソリューションを必要とする顧客に向けたデモやトライアルを行うための評価ライセンスの供与を開始したことを発表いたします。

この度の発表に先立ち、本評価ライセンスは日本電気株式会社（本社：東京都港区、以下 NEC）に供与され、IP Infusion は NEC と共同で、「VirNOS」ソフトウェアと、NEC の仮想化モバイルコアネットワークソリューション「Virtualized Evolved Packet Core（vEPC）」を含むマルチベンダ環境での NFV ソリューションとの広範囲にわたる評価を行いました。これに基づき、現在、海外や日本を本拠とする複数の主要通信事業者に向けた「VirNOS」の評価を実施しております。

IP Infusion 最高経営責任者（CEO） 大石 清恭は、

「NEC の大規模ネットワーク実装における豊富な知見と、IP Infusion の『VirNOS』プラットフォームを組み合わせることにより、採用事業者は、いかに迅速に自社ネットワークサービスを市場投入し、いかに柔軟にビジネス環境に応じてスケール規模を変更させることが出来るかご理解いただけたと思います」と述べています。

「VirNOS」をベースとした NFV ソフトウェアプラットフォームにより、通信事業者は、自社ネットワークの実装と管理をコスト効率よく行うことが出来ます。また、「VirNOS」により、以下のメリットを享受することが可能となります。

- OpenFlow^{※2} を用いたフロースイッチングに対応し、革新的なルーティング／スイッチングプロトコルの展開を容易にします。
- 仮想マシンや高セキュリティネットワーク、IP ベースの次世代モバイルネットワークに最適な仕様を実現。
- Intel DPDK を使用し、拡張性に富み、高速データパケットの通信アプリケーションを迅

速に展開できるプログラミングの枠組みを提供。

- IPv4・IPv6 のダイナミックなルーティングプロトコル (BGP4+、OSPFv2/v3、ISIS、Static) をサポート。
- MPLS のシグナリングプロトコル (LDP, RSVP, BGP Labeled Unicast) をサポート。
- MPLS をベースとした VPNv4 および VPNv6 をサポート
- VRF (Virtual Routing Forwarding) をサポートし、BGP4+、OSPFv2/v3、VRRP、BFD 等のプロトコルの動作が可能。
- ACL によるフィルタリングや QoS にも対応 (2014 年 12 月末リリース予定)

IP Infusion の NFV ソリューションに関する詳細は、<http://ipinfusion.com/products/virnos> (英語) をご覧ください。

※1 NFV (Network Functions Virtualization) : ネットワークの制御機能を、仮想化技術を使って汎用サーバ上で実現する方式。

※2 OpenFlow: ネットワークの仮想化を実現する次世代ネットワーク制御技術。OpenFlow Switch Consortium が提唱し、Open Networking Foundation により標準化が進められています。

■IP Infusion Inc.について

IP Infusionは、最適化されたイーサネットやIPサービス向けに高機能ネットワークソフトウェアを提供する、業界の先駆的企業です。ネットワーク業界の主要メーカは、IP Infusionの「ZebOS®」やその他のグローバル向け専門サービスを活用することで、製品の迅速な市場投入や競合他社との差別化を低コストで実現しています。IP Infusionの技術が組み込まれた製品は5大陸のほぼ全てのネットワークに搭載されており、またネットワークの機能向上や設備コストの削減、収益の改善を目指す企業による採用も増えています。IP Infusionはカリフォルニア州サンタクララに本社を置き、ACCESS CO., LTD.の100%出資子会社です。IP Infusionに関する詳細は、www.ipinfusion.comをご覧ください。

■ACCESSについて

ACCESS (東証マザーズ: 4813) は、1984年の設立以来、独立系ソフトウェア企業として、世界中の通信、家電、放送、出版、エネルギーインフラ業界向けに、モバイル並びにネットワークソフトウェア技術を核とした先進のITソリューションを提供しています。累計搭載実績10億台突破のモバイルソフトウェア、並びに世界中の通信機器メーカなどへの豊富な採用実績を誇るネットワークソフトウェアにおける開発力とノウハウを活用して、現在、クラウドを介してスマートデバイス上で多彩なサービスを実現するHTML5ベースのアプリケーション、並びにネットワーク仮想化 (SDN) 等の先進のネットワーク技術の開発・提供に注力しています。アメリカ、アジア、ヨーロッパ地域の子会社を拠点に国際展開も推進しています。詳細は、<http://jp.access-company.com/>をご覧ください。

※ACCESS、ACCESSロゴは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

※IP Infusion、IP Infusionのロゴ、ZebOS、VirNOSは、IP Infusion Inc.の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

※その他、文中に記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

本件に関するお問い合わせ

報道機関からのお問い合わせ

TEL : 043-212-2230

E-Mail : prinfo-gr@access-company.com

投資家・株主からのお問い合わせ

TEL : 043-212-2232

E-Mail : ir_o-gr@access-company.com